

11. ノスタルジージャンクフード / C奈 (Cv:米澤円)

作詞：スズム 作編曲：150P

ホウキ握り 独り立ち尽くす 放課後はテスト前
虐げ嗤う視線と夕暮れ 焼き付いた午後六時

善意なんて押し付けがましい体裁と為体で
腐る思考 蔑むいっつもと変わらない何とやら

何も言わず 誰も知らず
ただ忘れた 全部
笑い方も シャベリ方も

もういない

真っ眩々んだ 夜明けの夕立
ほらほら過呼吸状態
知らぬ存ぜぬ 少女は唄いた

退き引きならない明日はそれでも
冗談みたいに訪れる
雨上がりまでとまた本を読み耽る

誰も居ない 熬(だんま)り決め込む 森閑と八畳間
今日も一人 座って鬱いだ 自棄糞のテロリズム

明日も明日もそのまた明日すらも屁理屈な愚痴を吐き
ジャンクフードみたいにダラけた生活に溶けてゆく

真っ眩々んだ 小さな世界で
ただただ貧血状態
息を潜めて 少女はボヤいてた

退き引きならない明日はそれでも
冗談みたいに訪れる
朝が来るまでとまた独り読み耽る

誰かが来た 興味もないが
会いたいらしい 私に

何も言わず 誰も知らず
一人きりの私に

笑い方も シャベリ方も
全部全部いらない

なんでなんで 邪魔しないで

「もうやめてよ」

「待って」と呼ぶ声 誰にも届かず
ごめんね 本当は嬉しくて
償ってもらえなくても良いから

真っ眩々んだ 小さな世界にあるはず無い
誰かの手はそっと腕をとり私を連れ出した

真っ白広がる明日はそれでも
冗談みたいに訪れて
空は滲んで見えた

15. 流れる星に願う / Rita

作詞曲・編曲：スズム

見慣れた町並み 遠ざかる雲
少しだけ背伸びして見下ろす

坂道並んで歩いた
夕暮れの随に

一人静き 言い訳ばかり
きっと 終わりがあること

分かってたんだ

ねえ あの時言えなかった
言葉や想いを星空に重ねて

もう二度と来ない日々が
どこか懐かしく見えた

いつもの喧嘩
いつもの部屋で
気がつくと夜が長くなった

放課後切り取った景色が
今はただ変しい

信じたくて 素直になれず
ずっと幼いままの 僕たちじゃ

ねえ あの時言えなかった
不安や期待が夕焼けに消えてく

もう一度やり直そう
そんなことばかり
だって君は見慣れた呆れ顔

大切に仕舞った宝物は
今もまだポケットに残ってるんだ

意味を知って呼吸が止まる
きつと忘れてたんだね

ずっとずうと

ねえ あの時言えなかった
言葉や想いも星空に送って

ねえ 君なら笑うのかな
夜が明ける前に折った